

令和6年第2回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
1 (5)	大畠 光敬	<p>1 新エネルギー事業化可能性調査について</p> <p>「新十津川町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」内にある、「再生可能エネルギーの導入促進」について、もみ殻を活用したバイオマス燃料の事業化について調査をしたが、総務民生常任委員会資料から、事業化の可能性は限りなく低いとの調査結果の報告があった。町長は、前回定例会の一般質問において、もみ殻の活用による事業化の可能性について調査し、民間活力による町内での産業や雇用の創出に繋がり継続していけば持続可能な経済循環となり、地域の活性化が図られることが期待されると答弁があったが、残念な結果となってしまった。もみ殻燃料棒の事業化の支援は町として事業化の可能性が限りなく低いため、今の時点で考えていないとのことだが、今後はもみ殻を燃料として活用することは町としては考えず、何か他の事業で再生可能エネルギーの導入促進を進めていくということか。</p> <p>太陽光パネルや水力発電などの活用も期待できるが、太陽光パネルについては、パネルの効率や耐久性・メンテナンスコストの技術的課題が完全に解決されていないことや、景観を損ねるなどの様々な問題も出てきている。町長の現時点での考えをお伺いしたい。</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
2 (1)	加藤 敏晃	<p>1 公文書へのユニバーサルデザインフォントの導入について</p> <p>ユニバーサルデザインフォント（以下、「UDフォント」）は、多様な人々が読みやすいように設計されたフォントであり、高齢者や視覚障がい者、学習障がいのある人々にとって特に有用である。</p> <p>公文書にUDフォントを採用することにより、情報のアクセシビリティを向上させることが期待される。</p> <p>MS明朝体は、目を疲れさせやすく、読み間違いが起こりやすい書体であるため、このフォントで作成した文書では、伝えたい情報が正しく伝わらないことがある。</p> <p>「行政の文書は読みにくい、見づらい」と認識されてしまうと、行政から送付された文書を住民が確認しなくなる恐れもあることから、情報を住民にしっかり受け取っていただくためにも、住民にとって読みやすい文書を作成することは重要なポイントである。</p> <p>UDフォントの導入は、すべての住民が平等に情報を受け取るための重要な一歩であり、住民にとってプラスなだけでなく、職員にとっても目が疲れにくくなることも期待されることから、公文書にUDフォントを導入し、読みやすく正確に伝わる文書の効率的な作成に取り組んではどうか。</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
2 (1)	加藤 敏晃	<p>2 特定創業支援等事業を創業支援セミナーとして開催することの提案について</p> <p>人口減少、特に生産年齢人口の減少に対応するため、若者の働く場所の創出と新たな関係人口の獲得は重要な課題である。</p> <p>当町は創業支援等事業計画を策定しており、商工会に創業希望者のワンストップ相談窓口を設置しているが、活用は少なく、創業に関心のある人材の発掘までには至っていない。</p> <p>そこで、商工会と連携し、町の創業支援等事業計画における「特定創業支援等事業」を、当町で起業する意欲のある人や関心のある人を対象にした創業支援セミナーとして、開催することを提案する。これにより、札幌在住の大学生などを関係人口として獲得することにも繋がるほか、既存の支援事業や定住促進事業と併せてPRすることで、都市からの人口の流入に繋がることも期待できる。</p> <p>さらに、当該セミナーの対象者を「中学生以上」にすることで、商工会青年部の「ベンチャーキッズ事業」のフォローアップになり、進学で町外に転出したとしても、「新十津川に帰って起業する」という選択肢が生まれることが期待できる。</p> <p>また、当町は、ドローンプロジェクトによる新規起業を期待していることから、創業支援の講座の開催は、相乗効果の高い事業になると考える。</p> <p>以上のことから、若者の働く場所の創出と新たな関係人口の獲得が期待できる「起業（創業）講座」を、創業支援等事業計画に掲げる「特定創業支援等事業」として、商工会と連携して実施してはどうかと考えるが、町長の考えを伺う。</p>	町長	